

第5章 計画の推進方法、評価、見直し

天草地域において、自転車が生計交通手段としてより安全に利用されるとともに、サイクルツーリズムの推進による地域の更なる活性化を図るため、Plan（立案・計画）、Do（実施）、Check（検証・評価）、Action（改善）の考え方にに基づき長期的な視野に立って取り組みを推進していきます。

3章で設定した自転車道路ネットワーク計画に基づく自転車走行空間の整備については、道路状況によりタイプ①～④の空間整備と併せて、エスケープゾーン（待避所）や案内・注意標識を設置し安全で快適な走行空間の整備を進めてまいります。

また、全ての道路利用者を対象に交通ルールの周知啓発を行うことで天草地域における自転車空間整備のスムーズな定着を図ることとします。

このような取り組みを通じて、自転車が生計交通の手段として、また、観光振興の手段として積極的に活用される中、地域住民や来訪者のニーズの把握とそれに対する対応、自転車を利用する際の交通ルールの遵守と全ての道路利用者が交通秩序の維持に不断に努めることが重要となります。

このため、本計画に基づく取り組みを長期的な視野に立って持続的なものとするため、整備後の道路に対する安全性や快適性についての継続的なモニタリングを行うとともに、以下に示す自転車ネットワーク整備等の進捗や自転車に関する交通事故件数の増減など定量的な指標を用いた検証、さらには、これらの結果に関する協議会等への報告や関係者での議論を行うなど、Plan（立案・計画）、Do（実施）、Check（検証・評価）、Action（改善）の考え方にに基づきながら本計画の進捗管理や改善を図っていくこととします。

【アウトプット、アウトカム指標】

- ・自転車ネットワーク整備延長
- ・事故発生箇所における対策箇所数
- ・来訪者数、満足度

【関連アウトプット指標】

- ・道の駅等の拠点施設における環境整備（サイクルスタンド整備数）
- ・お土産品の売り上げ金額